

観光文化

Tourism Culture

236
January
2018

1. (インタビュー) 今、なぜ節目旅行なのか

山本志乃(旅の文化研究所)

2. (座談会) 節目旅行を考える
「これまで」と「これから」

山口 誠(獨協大学)

大塚雅樹(丁T Bコミュニケーションデザイナー)

細川典子(丁T B首都圏)

末永安生

梅川智也

3. (市場調査) 節目旅行の消費者意識と参加実態
吉谷地裕

特集

人生に旅を!

節目旅行ノススメ

4. (事例) 地域にみる節目旅行の取り組み

三重県鳥羽市○「真珠婚」で人生の1ページに刻まれる観光地に…福永香織
島根県出雲地方○「縁結び」で旅行者と「縁」が生まれる観光地…柿島あかね
四国遍路○「人生の節目」の舞台を、世界に、次世代につなげる…吉谷地裕
沖縄○「南国おきなわ」で過「す」特別な体験…牧野博明

5. (視座)

節目旅行による旅行需要の創出と地域振興
牧野博明



巻頭言
リアリティの逆襲

政策研究大学院大学 家田仁

観光研究レビュー

台湾におけるインバウンド政策の現状と課題
清水愛

活動報告 福永香織

第10回 たびとしてCafe
立教大学名誉教授
ゲスト 滝尾良隆氏

第11回 たびとしてCafe
文筆家ジャーナリスト
ゲスト 猪谷千香氏

第27回 旅行動向
シンポジウムを開催

連載① 私の研究と観光 第11回

ネット通販の買物観光への影響
敬愛大学 根本徹則

連載② わたしの1冊 第11回

「集落の教え100」
原広司 著

東京大学 西村幸夫

人生に旅を！

『節目旅行ノススメ』

山あり谷あり、楽しいこと苦しいこと、幸せなこと不幸なこと、そんな人生そのものが旅に例えられる。可愛い子には旅をさせよ、と言われるように人の成長と旅は密接な関係性が認められる。人は成長するために旅に出るのか、旅に出ることによって人は成長するのか、旅の意義はどちらも真なりであろう。

旅に出るきっかけを『節目』に求めるのは日本人だけではないだろうが、旧暦にみられるように季節の変化がはっきりし、伊勢参りのように本音と建前を使い分ける日本人には節目をいわば言い訳に旅に出る傾向が強い。

近年、若者の間では、『節目』に旅に出るから『旅』に出ることで人生に節目を作る、つまり希薄になった地縁、血縁などの人間関係を円滑にするため、仲間と一緒に旅に出かけることで節目を作るといふ知恵が生み出されているとも言われている。節目旅行の意味が大きく変わろうとしているとみることもでき、地域がこうした新たな需要に対応していくことも一考に値するのではないか。旅行は昭和が生んだ庶民の新しい大衆文化であった『旅行ノススメ』（白幡洋三郎・中央公論）から20数年。平成を超えて次の時代に節目旅行は地域に何をもたらすのであろうか。

本号は当財団の機関誌『観光文化』の改訂以降初の試みとして部横断のプロジェクト方式を採用した。調査研究部門の各部から中堅の研究員を選抜し、彼らの感性で企画編集が進められた。学術研究色を弱めて、身近な視点、旅行者目線から地域の取り組みを応援するような誌面構成を心掛けた。インバウンドだけに偏ることなく、日本人の旅行と地域の振興に繋がるバランスの取れた方策の一助となれば幸いである。

梅川智也

